



第63回 建築士会全国大会  
「広島大会」に参加して…

川田 朱 (旭川支部)

11月20日(土) 9:30より全国大会「広島大会」がオンライン開催される運びとなり、旭川支部女性会員では市内にある老舗の花月会館(令和3年再開業)にご協力頂き、12名が集いました。当日は、密にならないよう1人1テーブルで座席がランダムになるよう配置して頂き、私たちもマスク着用、手指消毒等を徹底しました。繰り返される緊急事態宣言で事業活動も中止が続き、もちろん委員会等も開催できず、実に2年ぶりに顔を合せ対話することができました。



交流セッションの様子

会場ではスクリーンに女性委員会のセッション「和の空間の魅力を探る・・・みたび」を映し参加しました。各県のパネリストから建物紹介があり、実際に現地に行ったような気持ちになりました。又、様々な活動を企画されていて大変興味深い話を聞くこともできました。セッション後は、行ってみたいね、企画してみたいね等と、久しぶりに会話が弾みました。

この日は反省会も兼ねておりました。多人数での会食は久しぶりです。会館で昼食を準備して頂き、おしゃべり好きな私たちは、お料理の素晴らしさや近況報告など積もる話もたくさんある中、黙食のご協力頂き、静かな静かな食事となりました。



心も体も癒されたお弁当

女性会員ZOOM座談会  
を終えて

工藤美智子 (札幌支部)

前年は「全道大会」の延期「女性建築士の集い」も中止となり迎えた令和3年、コロナウイルス感染拡大は収まらず、「全道大会」も「女性の集い」も中止が決まりました。会議もZOOM開催となり、楽しく会話する時間がまったく持たず、会員同士のつながりを保っていくには何をすればよいのかを考えるスタートとなりました。

お顔を見ながらのZOOM会議は必要な会話しかしないのでスムーズに進行でき予定時間に終了できます。でも、なんとなくあっけないというか、心が乾いているような一抹の寂しさを感じていました。

そこで、議題のある会議ではなく、女子会のように皆でおしゃべりのできる場として6月26日、9月4日、12月11日の全3回の座談会を企画しました。ただ、「土曜日の午後2時間おしゃべりしましょう。」では、運営上心配でしたので、まず30分程度の、ちょっと役立つミニ講座、その後雑談タイムにしました。WEB開催なので地域に関係なく女性会員ならどなたでも参加できるようにしようと考え、案内書を全女性会員へ郵送し参加募集をしたところ、各回15名程度の申し込みがありました。

ミニ講座は女性会員が担当し、第1回は函館支部の岩崎さんによる『かしこい写真の整理方法』第2回は釧路支部の金子さんによる『備えている？あなたを助ける

備蓄品』第3回は札幌支部の南海さんによる『資料作成の小ワザ』でした。

私をはじめ、ZOOMの使い方が良くわからないまま、恐る恐る参加している方もいましたので、初回は、マイクをミュートにする方法、自分の名前表示を変更する方法、チャット機能の使い方、賛成などの反応方法、画面上お化粧しているように見える加工方法、背景画像を使う方法、ブレイクアウトルームの体験など、色々試すところから始めました。

アナログ人間の私などは、回線が切れると困ると思い、それまでは只々つながったままの画面でどこにも触れずに過ごしていましたが、色々なことができるのに驚いてしまいました。

ミニ講座も、ちょっと知りたいお得情報を、仲間内で話す感覚で伝えていただき、質問や体験談、雑談タイムもやわらかい雰囲気ですぐ過ごすことができました。

無駄話と言われがちな、ちょっとしたおしゃべりの時間は、人と人をつなぐのに気持ちの上でも大きな役割を担っていたことを実感しました。

この会誌が皆さんのもとに届いている今は、どんな状況でしょう。楽しく仲間づくりができています？



第3回の参加者